

外国語科事例Ⅰ 「話すこと [やり取り]」の実践事例 「思考・判断・表現」の評価

単元名 防災マニュアルを読んで、災害時の対応についてALTとやり取りしよう

第3学年 NEW HORIZON③ Unit4 To Our Future Generations

ポイント1 パフォーマンス課題を設定し、学習の見通しをもたせる

ポイント2 領域統合型の言語活動を通して、指導と評価を繰り返す

ポイント3 振り返りシート等を活用し、記録に残す評価を工夫する

1 「CAN-DO リスト形式」による学習到達目標 第3学年「話すこと [やり取り]」
 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、自分が作成したメモを活用しながら、述べ合うことができる。




2 単元の目標
 外国の人と災害時の対応について話すため、防災や震災の逸話などに関して書かれた英文を読み、英文を引用したり内容に言及したりしながら、相手と必要な情報を伝え合うことができる。




3 単元の評価規準


	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [やり取り]	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の特徴やきまり，引用するための表現を理解している。 防災や災害について，考えたことや感じたことなどを，既習表現や不定詞などを用いて伝え合う技能を身に付けている。 	相手に必要な情報や考えを伝えるために，防災・災害に関して読んだことを引用したり，理由を加えたりしてアドバイスしながら，やり取りをしている。	相手に必要な情報や考えを伝えるために，防災・災害に関して読んだことを引用したり，理由を加えたりしてアドバイスしながら，やり取りをしようとしている。

※「書くこと」については目標に向けて指導は行いが、本単元において記録に残す評価は行わない。

4 指導と評価の計画

時間	主な言語活動 (○)	評価			
		知	思	態	◎評価規準〈評価方法〉
1	単元の目標と評価を理解する。  ポイント1 ○帯活動 (Small Talk) 避難訓練についてペアで話す。 ○本文中の新出語句と不定詞の用法について理解する。 ○Starting Out の「避難訓練のお知らせ」を参考に災害時にすべきことやそのやり方について，ペアで伝え合い，その内容や自分の考え等を書く。				★本時では，目標に向けて指導は行いが，記録に残す評価は行わない。 
2	○帯活動 (Small Talk) 災害時 (地震) の対応についてペアで話す。※疑問詞+to do... ○不定詞の用法について理解する。 ○英文を引用する表現(The handout says~)を学ぶ。		 ポイント2		
3	○帯活動 (Small Talk) 災害時 (火事) に必要なことや重要なことをペアで伝え合い，その内容を踏まえて自分の考え等を書く。※It is~(for 人) to do... ○Dialog の内容について，ペアで伝え合う。				
4	○帯活動 (Small Talk) 防災と災害時についてペアで話す。				

	○Read and Think①を読み、絵や語句をヒントに、震災バイオリンについてペアで伝え合い、話した内容を書く。 (retelling / writing)				
5	○絵や語句をヒントに、前時までの内容について、自分の考えも含めてペアで伝え合う。(retelling)				
6	○帯活動 (Small Talk) 防災や災害 (豪雨) について相手にしてほしいことや理由をペアで話す。※want(人)to do… ○Read and Think②を読み、絵や語句をヒントに、震災バイオリンについてペアで伝え合う。(retelling)				
7	○Read and Think①②の内容について、自分たちにできることなどを踏まえながら、ペアで伝え合う。(retelling) ○災害について学習した内容や自分の考え等を表現する。 (writing)  ポイント 2	○ 			◎防災や災害について、考えたことや感じたことなどを、既習表現や英文の引用表現を用いて正しく伝えているか。 〈行動観察・振り返りシート記述点検〉
8 本 時	○市の防災マニュアルやハザードマップを見て、不定詞のいろいろな用法などを用い、ALTのために必要な情報をペアで確認し、伝え合う。 ○英文を引用するための表現を確認する。 (The handout says~, The map shows~など) ○ペアで話した内容を確認し、ALTと会話をする際のメモを作成する。		ポイント 3 	○ ○	◎相手に必要な情報や考えを伝えるために、理由を加えてアドバイスしたり防災・災害に関して読んだことを引用したりしてやり取りしているか。 〈行動観察・振り返りシート記述点検〉
9	パフォーマンステスト (※)	○ ○ ○			

(※) パフォーマンステストについて  **ポイント 1**

◎パフォーマンステストの内容

近年、地震だけでなく豪雨による災害などが増えていて、ALTのケイトリンは不安に思っています。塩山に住んでいるケイトリンが、災害時にどこへ行ったらいいか、何を準備したらいいかなどを聞きたがっているので、自分で用意したメモや防災マニュアルを用いて、理由を含めてアドバイスしてください。また、あなたからケイトリンに質問しても構いません。

◎パフォーマンステストにおけるルーブリック (評価基準)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	単元で学習した不定詞やその他の既習表現を用いて、誤りのない英文で「災害時の対応」について、質問したり、答えたりできる。	ALTの状況を考え、理由を加えて、アドバイスしたり、資料を用いたりして、自らやり取りをしている。	ALTの状況を考え、理由を加えて、アドバイスしたり、資料を用いたりして、自らやり取りをしようとしている。
b	誤りが一部あるが、単元で学習した不定詞を用い、コミュニケーションに支障のない程度の英文で「災害時の対応」についての質問に答えることができる。	授業で扱った内容を基に、理由を加えてALTからの質問に答えて、自らやり取りをしている。	授業で扱った内容を基に、理由を加えてALTからの質問に答えて、やり取りしようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。




◎パフォーマンステストにおける具体的なゴール (bの生徒の姿)


ALT: I saw the news about the disasters from extreme weather.
 I'm afraid of it and I don't know what to do in an emergency. Can you help me?
 SI: Sure.
 ALT: I don't know where to go.
 SI: You can evacuate to Enzan junior high school. Our school is in a safe area.
 ALT: Oh, I see. Please tell me what to bring.
 SI: You should bring some water, a flashlight, and some food.
 ALT: Anything else? I want you to tell me more.
 SI: I will take my toothbrush too. It's important to care oral health.
 ALT: Thank you, SI. What do you think is the most important for us to do?
 SI: I think it is important for us to help each other in an emergency.

5 本時の学習

目標 防災マニュアルを見て、必要な情報や非常時持出品などについて、理由を述べながらペアで伝え合うことができる。

展開

時間	生徒の活動	指導者の活動	指導上の留意点 ◎評価規準〈評価方法〉
	○【Greeting】あいさつをする。	あいさつをする。	
10分	○【Warm-up】 Small Talk “What is necessary for us to do in an emergency?” ペアで災害時に必要なことやものについて伝え合う。	○【Warm-up】 ・前時までに扱った単語やフレーズを参考にするよう促す。	
30分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> Today's Goal: 災害時,防災マニュアルにある「非常時持出品」の中から,何を持って行くか,理由などを加えて,ペアで述べ合い,ALT へのアドバイスを考えよう。 </div>		
	○【Activity 1】  ポイント 1 ・市の防災マニュアルを確認する。 ・読み取った情報をペアで共有し英語で言ってみる。 ・災害時に水と食料以外で持って行くものを、理由とともに考える。 ・ペアで伝え合う。 ・ペアを変えて、もう一度持って行くものと理由を伝えあう。 ・4人グループをつくり、災害時に確認すべきことや必要なものについて伝え合い、会話の様子を互いに評価し合う。 ※生徒用タブレットで撮影	○【Activity 1】 ・市の防災マニュアルから必要な情報を全体で共有し、いくつかの表現を確認する。 ・引用するための英語表現を確認する。 ・評価のポイントを伝え、お互いのやりとりの様子についてコメントする(良かったところを伝える)ことを伝える。	◎災害時、防災マニュアルにある「非常時持出品」の中から、何を持って行くか、理由などを加えて、ペアで述べ合っているか。【思判表】(述べ合おうとしているか。) 【態度】 〈生徒用(相互評価用)ワークシート〉使用  ポイント 3
5分	○【Activity 2】 ・パフォーマンステストの ALT とのやり取りに向けて、メモを作成する。 ・メモは単語あるいはフレーズとし、10語程度に限定する。	○【Activity 2】 ・パフォーマンステストでの評価基準を確認する。 ・生徒が使用と思われる表現を確認する。	〈パフォーマンステスト用ワークシート〉

	・パフォーマンステストでの評価基準（ルーブリック）を意識しながら書く。		
5分	○【Reflection】 ・振り返りシートを記入する。	・「理由を言おうとしたか」 「防災マニュアルを引用しようとしたか」などを確認し、記入するよう促す。	 ポイント3
	○【Greeting】あいさつをする	○あいさつをする	

※「領域統合型の言語活動を通して生徒のパフォーマンスの変容を評価する」

話すこと [やり取り]「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の実践事例のポイント
授業者のコメント

ポイント1 パフォーマンス課題を設定し、学習の見通しをもたせる

単元を通してどのような力を身に付けさせたいか生徒自身に見通しをもたせることで、パフォーマンステストに向けた活動(ペア活動や writing)が回を重ねるごとにブラッシュアップされていった。また、ハザードマップや防災マニュアルなど学校区の実物資料を使うことで、より実際の場面を意識したコミュニケーション活動を行うことができた。

ポイント2 領域統合型の言語活動を通して、指導と評価を繰り返す

帯活動としてパフォーマンステストに向かうような問い立てをし、Small Talk を行い、教科書本文についてはリテリングを行った。いずれもペア活動を中心とし、フィードバックを積み重ね、生徒同士の学ぶ(真似る)機会や会話を続けようとする技能の向上を図った。また、読んだことを話す、話したことを書くといった活動に単元のなかで複数回取り組むことで、次の活動を見通して取り組む姿勢や学んだことを次につなげようとする意識をもたせることができた。

ポイント3 振り返りシート等を活用し、記録に残す評価を工夫する。

振り返りシートを活用し、自己を振り返る力や次の学習につなげようとする姿勢を評価、支援した。また、帯活動やその他のペア活動等で話した内容を振り返りシートを活用し、writing 課題として書かせ、正確性の指導や評価につなげることを工夫した。(下図)

本時では、パフォーマンステストのルーブリックに寄せた形で「思考・判断・表現」と「主体的に学習に取り組む態度」について4人グループで相互評価をし、テストに向けての改善や意欲付けをおこなった。生徒用タブレット端末等を活用し、生徒自身の姿を振り返る機会をもたせた。また、英語表記のルーブリックを使ってALTと打ち合わせをし、信頼性・妥当性のある評価に努めた。

6	Unit 4-4 want 入 10- の意味と使い方	Unit 4-4 震災のエピソード の読み取り	Unit 4-4 前時までの内容の 振り返り	Writing	ALTと打ち合わせ を済ませる
7	Unit 4-4 前時までの内容の 振り返り	Unit 4-4 前時までの内容の 振り返り	Unit 4-4 前時までの内容の 振り返り	Writing	ALTと打ち合わせ を済ませる
8	Unit 4-4 前時までの内容の 振り返り	Unit 4-4 前時までの内容の 振り返り	Unit 4-4 前時までの内容の 振り返り	Writing	ALTと打ち合わせ を済ませる

パフォーマンス テスト結果	
知・技	: B
思・判・表	: A
態度	: A

☆パフォーマンステストを意識し、次へ生かすような反省ができた。第8時では、「資料の活用」がうまくできなかったとあるが、パフォーマンステストでは資料を活用でき、思・判・表でもAがとれた。